

# 心♥と手をつなぐ

(障害児者・家族団体ガイドブック)

## 公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会

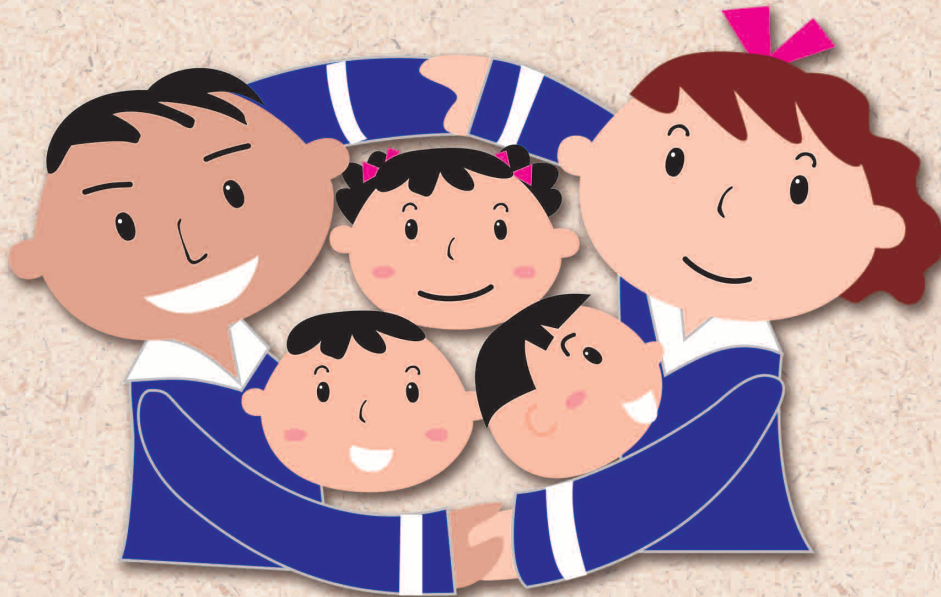
横浜市肢体障害者福祉協会  
NPO法人横浜市視覚障害者福祉協会  
一般社団法人横浜市聴覚障害者協会  
横浜市港笛会  
横浜市車椅子の会

横浜市脳性マヒ者協会  
横浜市腎友会  
横浜市オストミー協会  
横浜市中途失聴・難聴者協会  
横浜市もみじ会

## NPO法人横浜市精神障害者家族連合会

## 横浜断酒新生会

## NPO法人横浜ひまわり家族会



## 横浜市心身障害児者を守る会連盟

NPO法人横浜市手をつなぐ育成会  
横浜市肢体不自由児者父母の会連合会  
横浜障害児を守る連絡協議会  
一般社団法人横浜市自閉症協会  
神奈川県筋ジストロフィー協会横浜支部  
全国心臓病の子どもを守る会横浜支部

横浜てんかん協会  
日本二分脊椎症協会神奈川支部  
神奈川ヘモフィリア友の会横浜支部  
先天性四肢障害児父母の会神奈川支部  
横浜重心グループ連絡会 〜ばざばネット〜

横浜市障害者社会参加推進センター

# ひとりで悩まないで

横浜市内には、身体的・知的・精神的な障害により障害者手帳を持っている人が、約18万5千人(\*)います。こうした障害のある人の中には、健康面や生活面、災害時の不安を抱えながら、情報や仲間と接する機会が少なく、寂しい思いや生きづらさを感じている人々もいるのではないのでしょうか。

横浜市障害者社会参加推進センターは、障害の有無にかかわらず誰もが家庭や地域で明るく暮らせる社会となるよう、地域社会の中で自立した生活と社会参加を推進することを目的として設置されました。

障害のある人が地域で暮らしていくうえで、周囲の人々の障害への理解とともに、社会との「つながり」を持つことがとても大切です。横浜市障害者社会参加推進センターには、市内の身体障害・知的障害・精神障害に関わる団体が加盟し、障害者自らが様々な社会参加のための事業を実施しています。この冊子を読まれた方が、仲間づくりや社会参加につながる活動に興味を持たれ、新たな一歩を踏み出していただけたら幸いです。

(\*) 横浜市の障害者手帳所持者数

令和5年度末現在

障 害 別		手帳所持者数
身 体 障 害		97,440 人
内 訳	肢体不自由	43,669 人
	視覚障害	6,607 人
	聴覚・平衡機能障害	9,306 人
	音声・言語・そしゃく機能障害	1,064 人
	内部障害	36,794 人
知 的 障 害		37,752 人
精 神 障 害		50,211 人
合 計		185,403 人

## 目 次

横浜市身体障害者団体連合会……………	P 1	横浜市手をつなぐ育成会……………	P 14
横浜市障害者社会参加推進センター…	P 2	横浜市肢体不自由児者父母の会連合会……	P 15
横浜市肢体障害者福祉協会……………	P 4	横浜障害児を守る連絡協議会……………	P 15
横浜市車椅子の会……………	P 5	横浜市自閉症協会……………	P 16
横浜市脳性マヒ者協会……………	P 6	神奈川県筋ジストロフィー協会……………	P 16
横浜市視覚障害者福祉協会……………	P 7	全国心臓病の子どもを守る会……………	P 17
横浜市聴覚障害者協会……………	P 8	横浜てんかん協会……………	P 17
横浜市中途失聴・難聴者協会……………	P 9	日本二分脊椎症協会……………	P 18
横浜市港笛会……………	P 10	神奈川ヘモフィリア友の会……………	P 18
横浜市腎友会……………	P 11	先天性四肢障害児父母の会……………	P 19
横浜市オストミー協会……………	P 12	横浜重心グループ連絡会（ぱざぱ）…	P 19
横浜市もみじ会……………	P 13	横浜市精神障害者家族連合会……………	P 20
横浜市心身障害児者を守る会連盟……	P 14	横浜断酒新生会……………	P 21
		横浜ひまわり家族会……………	P 22



# 公益社団法人 横浜市身体障害者団体連合会(浜身連)

障害があってもお互いを理解し助け合いながら地域で元気に暮らせる共生社会の実現を目指して活動しています。

## 障害福祉に関する啓発事業

○広報紙を年3回（1月、5月、9月）発行

○ホームページを通じた情報発信

○身体障害者福祉の集い

身体障害者の交流と協調を深め、身体障害者の自立と社会参加を促進すると共に、  
永年にわたり身体障害者の地位向上と福祉の増進に功績のあった人や団体を表彰します。

## スポーツ・レクリエーション事業

○身体障害者運動会

当事者、家族、ボランティア同士の交流と親睦を深め、運動を通して  
障害について理解し合いながら楽しく一日を過ごします。

○ハンディキャップテニス事業

・教室：年10回、本牧市民公園テニスコートにて練習会を実施しています。

・大会：年1回、練習会の集大成として大会を開催しています。

○身体障害者囲碁・将棋大会

囲碁や将棋を楽しみながら当事者相互の親睦と交流を深めます。



## 社会参加支援事業

○社会参加推進センターの運営

横浜市からの委託を受けて、障害者理解を広げる啓発活動や障害者の社会参加の促進につながる各種の事業を実施しています。

○ハンディキャブ（リフト付車両）貸出事業

横浜市内の12歳以上の歩行困難な障害者や団体等にハンディキャブを貸出します。

○ジパング倶楽部 特別会員の受付

JRの特急券等が2～3割引きでご購入いただけます。

（男性60歳以上、女性55歳以上が対象）

○障害者雇用相談事業

障害者の就職・転職をサポートします。雇用に関する相談を面接にて受けています。

相談日時▶第2・4土曜 10時から16時 場所▶障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

《問合せ先》一般財団法人日本福祉財団 障がい者雇用事業団 東京支部

電話：03-3225-9985（月～金 10時～18時）FAX：03-3255-9996

E-mail：koyoujwf@gmail.com



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2060 / FAX 045-475-2064  
月～土曜9～12時、13～17時（祝日、年末年始を除く）  
<https://www.hamashinren.or.jp/>



## 沿革

1950年 神奈川県身体障害者団体連合会 発足  
1951年 横浜市身体障害者福祉協会 発足  
1985年 法人設立  
社団法人横浜市身体障害者団体連合会に改称  
2013年 公益社団法人化





# 横浜市障害者社会参加推進センター

横浜市障害者社会参加推進センターでは、障害者及びその家族・支援者への各種研修や情報提供等の事業を通じて、障害者の地域における自立生活と社会参加を目指し活動しています。

## 障害福祉に関する啓発事業

### ○障害者週間普及啓発事業

毎年12月3日から9日の障害者週間の期間にイベントを開催しています。

### ○障害者差別解消事業

啓発活動：事業者・学校・地域等の依頼に応じて、当事者の講師派遣（出前講座）を行うほか、パンフレット配布等を行っています。

語りべ塾：障害について学び、福祉学習の場で活躍する障害当事者の講師を養成しています。

相談支援：ピア相談員活動を通じたサポートを行っています。



## IT 講習事業

### ○障害者パソコン講習会＆相談室

障害者手帳を所持している人を対象にパソコンの基本操作や文書作成（ワード）・表計算（エクセル）など、講習会や相談室を開催しています。また、タブレット端末の講習会や相談室も実施しています。パソコンボランティア養成講座を受講したボランティアが講師やサポートを行い、その人のレベルや目的に合わせてスキルアップを目指します。

### ○パソコンボランティア養成講座

受講資格は、パソコン（Windows）に習熟し、障害者等への支援に熱意がある人。講座内容は、障害や特性について学びます。受講後は、パソコン講習会・相談室の講師・助手・相談員としてご活躍いただけます。

### ○ITサポート事業

障害者団体・サークル等を対象に、ホームページの運営やIT技術を活用した情報発信力等の向上のためのサポートをITサポーターボランティアが行います。



## ハンディキャブ（リフト付車両）事業

### ○運行用（登録制）

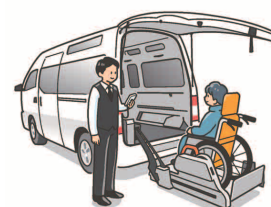
タクシー会社と提携し、12歳以上で身体障害者手帳1～2級の車椅子（ストレッチャーも可）を必要とする人を専任の運転手が目的地（原則 横浜市内）まで送迎します。

### ○貸出用

歩行困難な12歳以上の身体障害者手帳を所持している人に、ハンディキャブを貸出します。運転する人がいない場合は運転ボランティアを紹介します。

＜問合せ先＞

電話：045-475-2150





## 聞こえに関する講座の開催

聞こえに不安を抱えている人やその家族・支援者等を対象に聞こえの仕組みや補聴器・人工内耳、聞こえないことによる生活上の悩みなどをテーマとし、専門家や当事者を講師に迎え、講座『聞こえと補聴器』を開催しています。(年1回)



## 結婚等相談事業

男女の出会いや友人作りなど交流の場を提供しています。  
ご登録いただいた方には『友愛の集い』などイベントのご案内をします。

## ホームページの運営

様々なイベント、研修会、講演会など、情報を発信しています。



## 障害者ピア相談事業

障害者やその家族が相談員となって、同じような環境や悩み、経験をいかして困りごとの相談に応じています。

**相談方法** 電話または面談。面談の場合は事前連絡（予約）が必要です。

**予約方法** 電話：045-474-2272 ファックス：045-475-2064

メール：yoyaku@hamashinren.or.jp

身 体 障 害 者 ☎&FAX 045-474-2273 受付時間 13時～16時 *12時～15時			知 的 障 害 者 ☎ 045-474-2274 受付時間 12時～15時		
中 途 失 聴・難 聴	第1	月 曜	知 的 障 害	毎 週	火・木・土曜
車 椅 子	第2・第4				
呼 吸 器 機 能 障 害	第1	水 曜	重 症 心 身 障 害	第1・第3	金 曜
脳 性 マ ヒ	第2・第4				
視 覚 障 害	第1・第3	木 曜	精 神 障 害 者 ☎ 045-474-2275 受付時間 10時～16時		
膀 胱・直 腸 障 害	第2・第4				
腎 臓 機 能 障 害＊	第1火曜・第3金曜		精 神 障 害	毎 週	水・日曜
喉 頭 摘 出	第2	金 曜	薬 物 依 存 症 ☎ 045-474-2274 受付時間 13時～16時		
肢 体 障 害	第1・第3	土 曜			
聴 覚 障 害	第2・第4		薬 物 依 存	第1・第3	火 曜

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
 TEL 045-475-2060 / FAX 045-475-2064  
<https://www.hamashinren.or.jp/suishincenter>



## 沿 革

1999年 浜身連に設置



# 横浜市肢体障害者福祉協会(浜肢体)

相互の交流を深め、体力の向上、機能回復を目的とした事業を実施しています。

## 活動内容

### 補装具着用訓練

補装具着用等の体力増進、機能回復のためボッチャ、グラウンドゴルフなどの講習会等を行います。

### スポーツ事業

卓球大会の実施



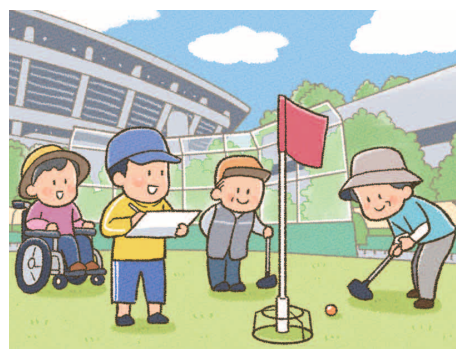
【ボッチャ体験会】

## ピア相談

毎月第1・第3土曜日13時から16時まで  
当事者相談員が電話または、面接での相談に応じます。  
電話：045-474-2273

なお、面接での相談は予約制。

面接相談予約：045-474-2272

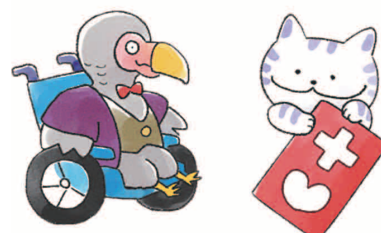


## その他

浜身連の行事・事業に積極的に参画しています。

- 身体障害者運動会、身体障害者囲碁・将棋大会
- 会報「浜身連」編集委員
- 障害者週間PR

浜身連を通じて、暮らしやすい社会となるよう行政へ要望し、情報交換を図っています。



### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064  
<http://hamashitai.com/>



### 沿革

1945年 神奈川県身体障害者団体連合会 加盟  
1967年 横浜市肢体障害者福祉協会 設立



# 横浜市車椅子の会

車椅子で街に出かけよう・誰もが楽しく過ごせる街にしよう。  
 車椅子使用者の目線で誰もが過ごしやすい街づくりをテーマに活動しています。  
 またパラスポーツ体験会など車椅子の仲間との交流の機会もあります。一緒に車椅子での生活を楽しんでみませんか？

## 活動内容

### 車椅子ライフセミナー

- ・パラスポーツ体験会（車椅子バスケット、テニス、ボッチャ等）を開催しています。
- ・専門家を招きヘルスケアなどを学ぶ講習会を開催します。

### 福祉のまちづくり

- ・日身連・浜身連を通して行政や議会への要望や提言
- ・市設置の委員会等へ参加し要望や提言を行う。

### 福祉講座への講師派遣

- ・「語りべ塾」（横浜市社会参加推進センター）の講習や研修を受講した車椅子使用の障害当事者が自身の経験をもとに障害者理解について講義をします。
- 対象は、学校・行政・企業・医療関係者など。

## ピア相談

毎月第2・4月曜 13時から16時まで  
 当事者相談員が電話または、面接での相談に応じます。  
 電話：045-474-2273

なお、面接での相談は予約制。  
 面接相談予約：045-474-2272

## その他

浜身連が主催する行事（運動会、囲碁・将棋大会、テニス大会など）へ参加し仲間との交流をしています。



【ボッチャ体験会】



【車椅子ライフセミナー】



【テニス大会】

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752  
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
 TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064  
<http://kurumaisunokai.com/>



### 沿革

1977年 横浜市車椅子の会設立  
 横浜山下公園内に市内で第1号の『障害者トイレ』が設置された日、記念式典に参加した数名のくるま椅子生活者が中心となり、「車椅子で街に出かけよう」と呼びかけ43名が集結。会の設立のきっかけとなった。



# 横浜市脳性マヒ者協会(浜脳性)

会員相互の親睦を深めると共に、ボランティア等の支援者の協力を得つつ、脳性マヒ者(児)の福祉の向上並びに社会的位置の確立を図る事を目的として活動を行っています。

## 活動内容

全身性重度障害者が地域で生活できる環境を行政とともに模索し、必要な制度を要望していきます。そのために月一回の例会を行い、地域で生きるスキルアップを目指します。

### ○レクリエーション、会議、勉強会の開催

会員同士で情報交換を行ない、強靱な心を養っていきます。

### ○介護問題

全身性重度障害者にとって、介護は生きていく上で必要不可欠なものとなってきています。この問題に目を背けずに取り組んでいきます。

### ○在宅訪問

個別相談に応じ、一人ひとりが抱えている問題を見つけ、解決に向けた話し合いをします。



【レクリエーション (BBQ)】

## ピア相談

私たち全身性障害者は、まちにあふれる階段の段差や差別によって、生きにくさを感じています。それらについてあきらめるのではなく、問題意識を持ち、ピア(仲間)に相談をして、行政へと繋げ解決へと導きます。脳性マヒ者の暮らしや考えは、同じ障害を持つ者同士でしか理解しえないところがあります。主に言語障害によって、社会の中では子ども扱いされることを経験してきました。そういった問題を掘り起こして、私たちは暮らしやすい地域の実現を願って活動しています。皆さんも「これって何かおかしいんじゃないの?」って思ったらご相談ください。お電話をお待ちしています。

[ピア相談実施日時：原則毎月第2・4水曜日13時から16時]



【新年会】

## その他

○脳性マヒ者等ふれあいセミナー(年1回): 様々なテーマで研修と交流を目的に、全身性障害者が自立して地域で生活するためのセミナーを実施します。

○雑談会: 障害施策や身近な課題について話し合い、問題を掘り起こします。

○レクリエーション: 私たちが利用や経験をしにくいホテル、劇場、遊園地、公園並びに公共交通機関を利用して活動します。社会モデルに基づき、行政とともに施策を推進し社会的のバリア(障壁)を取っ払い、私たちが、安心して生きていける世の中にするべく、積極的に働きかけます。

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064

<https://sites.google.com/view/hamanousei>



## 沿革

1978年 横浜市脳性マヒ者協会 結成  
以来、横浜市内の脳性マヒ者の社会参加を  
推し進めるため、各種事業を行なっている。



# NPO法人 横浜市視覚障害者福祉協会(浜視協)

視覚障害者の生活と福祉の向上、経済的・社会的自立を目指して活動しています。  
また、会員から意見集約をして、行政に視覚障害者の諸問題について予算要望しています。

## 活動内容

### 視覚障害者社会・家庭等生活訓練

料理教室など家庭生活に必要な訓練やパソコン教室など社会生活に必要な知識の習得を行っています。

#### ●生活福祉委員会

移動、日常生活、情報、コミュニケーション、防災など様々なテーマについて行政や企業などから説明をいただき、情報の共有や意見交換をしています。

#### ●スポーツ部

STT（サウンドテーブルテニス）、ボウリングなどで交流しています。全国規模の大会でも活躍している人もいます。

#### ●女性部

華道教室、料理教室のほか、当事者に関心の高い企画を実施。

#### ●青年部

街歩き、バスハイク、スマホ体験会など定期的に開催。



【タンデム(二人乗り)自転車試乗会】

### 会報『浜視協』発行

点字、カセットテープ、デージー、拡大文字、メール配信の5媒体で毎月発行。

### 点訳・音声奉仕者基礎・ステップアップ講座

視覚障害のあるかたに情報を提供するボランティアを養成する講座を実施しています。

### 仲間との交流

市内各区の視覚障害者団体では、交流会、バスハイク、カラオケなど独自の企画を実施。

### 移動の保証

単独では歩きにくい、不案内なところへ出かけるなど、ガイドヘルパー（同行援護従事者）が歩行のガイドを行う事業所（アイポート浜視協）の運営



視覚障害のある人のための  
国際シンボルマーク

視覚障害者の安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器などにつけられている、世界共通のマークです

## その他

【正会員・賛助会員のご案内】会員相互のコミュニケーションの促進を図り、生活・福祉にかかわる情報の取得や親睦に資することを目的としています。目の障害に悩んでいる人、視覚障害に関する情報を探している人、視覚に障害のある人へのサポートやボランティア活動にご協力いただける人は、是非ご入会ください。登録制のメーリングリスト「hamasiML」運営しています。

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール  
TEL 045-475-2061（月から金 10時から17時）  
<http://hamasikyo21.org/>（入会の申込みもできます）



### 沿革

1920年 横浜市盲人会 設立  
1964年 横浜市視覚障害者福祉協会 発足  
2010年 NPO法人化  
2015年 障害者福祉サービスに参画



# 一般社団法人横浜市聴覚障害者協会(横聴協)

通称『はまデフ』は、集う・学ぶ・繋ぐをコンセプトに、生涯学習・ろう者教育・高齢者支援・防災・若手育成などさまざまな分野に取り組んでいます。ろう者が自立し安心して暮らせる社会を目指して活動しています。

関心の高い企画も多数あります。ぜひ一度、はまデフをのぞいてみてください。

## 基本方針

- 協会のテーマである「集う・学ぶ・繋ぐ」に沿った活動を行う
- 法令とコンプライアンス、カバナンスを遵守する
- ろう者のアイデンティティーを大切にして社会経済活動への参加を推進させる
- ろう者の生活と人権を守り、差別のない社会を築く
- ろう者の言語である手話を次世代に継承すべくろう者が主体となって手話教育・手話普及に努めていく



【手話言語の国際デー】



デフリンピック

### 集う：社会参加促進事業

・横浜市聴覚障害者の集い・新年のつどい・手話言語国際デー・高齢ろう者の敬老を祝う会・各専門部企画・宿泊研修旅行・ウォーキング会・日帰りバスツアー・サロンなど



はまデフ



【横浜市聴覚障害者の集い】

### 学ぶ：はまデフ事業

・ろうあ者日曜教室・日本語（文章）教室・国際手話講座・福祉フォーラム・防災研修・料理教室・デフスポーツ講座・デフキッズ体験会など

### 繋ぐ：啓発事業

・会報「はま」発行・手話テキストなどの斡旋、発行・手話福祉学習、講演会などの講師派遣・手話通訳派遣・手話奉仕員養成講習会・手話通訳者養成講習会・手話講師養成講座・統一試験対策講座・日本手話講座・手話講座よつば・よこはま寺子屋・手話いろは・CLイメトレ講座・手話クリニック・手話夏季講座など



【ろうあ者日曜教室】



がんばって

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
FAX045-475-2112【聴覚障害者専用】  
お問い合わせは、ホームページフォームから  
<https://yokohama-deaf.org>



## 沿革

1934年 浜友会 創立  
1936年 横浜市聴覚障害者協会 設立  
1992年 社団法人化  
2013年 一般社団法人化





# 横浜市中途失聴・難聴者協会(浜難聴)

中途失聴・難聴者の互いの悩みを打ち明け合い、分かり合い、慰め、励まし合っていきたいと思う、親睦と相互啓発および福祉の向上を目的とする協会です。

- 聞こえの悩みを共に語り合しましょう！ ●集会では文字通訳、ヒアリンググループもつきます！
- 手話を学び仲間と語り合しましょう！ ●あなたの素敵な笑顔を待っています！
- 悩みの相談を受け付けます！

## 活動内容

### 中途失聴者コミュニケーション教室

中途失聴・難聴者が手話を学べる教室を開催しています。  
(要約筆記の文字表示付き)

### 要約筆記者養成講習会および研修会

聴覚障害者のコミュニケーションをサポートするための  
要約筆記者(文字で情報を伝える人)を養成しています。

### 聞こえと補聴器の講座

横浜市障害者社会参加推進センター主催/浜難聴協力

## 活動組織

上記以外にも、次の組織が活動しています。

### レクリエーション部

原則毎月一回開催。新年会、お花見会、クリスマス会、忘年会、  
手芸、料理、福祉バスで1泊旅行、講演会、他団体との交流会  
など、楽しく集う企画を立てて仲間同士の親睦に努めています。

### 絵手紙の会

毎月第3水曜日、桜木町健康福祉センターで季節の花、果物、野菜  
などを自由に描いています。

### 健康マージャン同好会

月1回不定期で活動しています。

### 広報部

毎月第3日曜日に会報『エコー』をラポールで印刷し発行しています。

### 手話学習会

毎月2回会員が集い手話の勉強をしています。

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064  
<http://hamanancho.com/>



### 沿革

1979年 「回覧ノートの会」発足  
1980年 会報「エコー」創刊  
1985年 全難聴加盟  
1989年 横浜市中途失聴・難聴者協会へ名称変更



【コミュニケーション教室】



【要約筆記者養成講習会】



【バス旅行にて】



【絵手紙の数々】



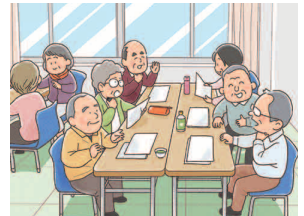
# 横浜市港笛会 ～喉頭摘出～

喉頭・咽頭・食道・甲状腺がんなどで喉頭・声帯を失った人の組織する団体です。定期的  
に発声訓練の教室を開催し、指導者からコミュニケーションに必要な新しい声の発声訓  
練をうけます。多くの会員が、日常会話ができるようになり、社会復帰を果たしていま  
す。あきらめないで共に自立を目指しましょう。

## 活動内容

### 音声機能障害者発声訓練

日常における会話が可能となるよう食道発声訓練、人工喉頭（EL）による  
発声訓練などを行います。



訓練日： 毎週水曜日 13時～14時（横浜市立大学附属病院1階 薬局棟奥研修室）  
原則月曜日、月1回金曜日 13時～14時（神奈川県立がんセンター中会議室・講堂）  
※7月下旬～8月末は夏休み、12月中旬～1月初旬は冬休みとなります。  
教室の見学は自由。来室を歓迎します。

### 発声訓練以外の行事

- ◎ 会誌「港笛」の発行：2年毎に発行しています。会員の寄稿文を主力に編集しています。
- ◎ 研 修 会 バ ス 旅 行：原則的に年1回、1泊又は日帰りバス旅行、ご家族も参加可能です。
- ◎ 家族ぐるみの懇親会：7月は「暑気払い」、12月は「忘年会」を開催します。

## ピア相談

毎月第2金曜日（13時から16時まで）

当事者相談員が電話または面接での相談に応じます。※面接でのご相談は予約制

電話相談：045-474-2273 面接相談予約：045-474-2272

## その他

会では、喉頭摘出手術を行った人のために日常生活用具や補装具の販売斡旋を行っています。

### ①気管孔用プロテクター【非会員も購入可】

対象者：市内在住、音声機能喪失の障害者手帳所持者

受取方法：当会発行の見積書をお住まいの区役所へ提出します。その際、障害者手帳を持参  
してください。後日承認書が届くので、指定の教室へ承認書、自己負担金、印を  
持参し商品を受け取ってください。

### ②超音波ネブライザー（吸入式）【非会員も購入可】

対象者：障害者手帳申請前の人も購入方法を説明し斡旋します。

### ③拡声装置『パワギガM』【会員のみ購入可】

対象者：障害者手帳所持者で当会会員に購入の取次ぎをします。

### ④電気式人工喉頭『ユアトーンS-2、G-2』

対象者：障害者手帳所持者で当会会員に購入の取次ぎをします。



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064

## 沿革

1967年 横浜市港笛会 設立

腎臓病に関する正しい知識の普及と社会啓発、人工透析患者の社会参加推進を図ることで市民の保健福祉の向上に寄与します。会員相互の交流により透析医療の充実を目指します。

## 活動内容

### 1. 腎不全者栄養教室

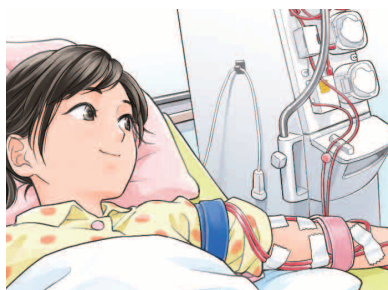
横浜市委託事業として透析医療に関する最新情報を専門医と管理栄養士により学びます。活動は：年3回（6,11,3月横浜市健康福祉総合センターを会場に開催）



【腎不全者栄養教室】

### 2. 懇談会『サロンde透析』

少人数で集まり、悩みについて話し合います。活動は施設腎友会のある区（港北区、港南区、金沢区、西区、中区、戸塚区）で開催予定



【透析中イメージ】

### 3. レクリエーション

日帰りバス旅行：福祉バスを使い三浦半島を中心に近場での開催  
横浜ウォーク：公園散策、博物館、美術館など市内を歩きます。

### 4. 機関誌の発行

「腎友会よこはま」を年4回発行

### 5. 定例役員会

毎月第2日曜日午前中横浜ラポールで開催  
定期総会は6月に代議員制にて開催



【定期総会】

### 6. 行政への要望活動

重度障害者医療費助成、福祉タクシー券、福祉自動車燃料券を獲得しました。

### 7. 透析見学会

透析医療の現場を医療法人のご協力を得て行政担当者と横浜市会議員の皆様に見学していただきます。

## ピア相談

第1火曜日と第3金曜日12～15時／障害者本人が  
困り事の電話相談に応じます【045-474-2273】

<https://www.facebook.com/jinyuukai.yokohama/>



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064

<http://yokohama-jinyuukai.wixsite.com/yokohama-jinyuukai/>



## 沿革

1978年 横浜市腎臓病友の会 発足  
1983年 横浜市腎友会に名称変更





# 横浜市オストミー協会

(公益社団法人日本オストミー協会 横浜市支部)

**オストメイト**:手術をしてお腹にストーマ(人工肛門・人工膀胱)を造設した人  
オストメイトになっても笑顔で過ごせるように、何より「自分ひとりだけじゃなかった」と思える仲間づくりをしています。

オストメイトにとって、仲間とのつながりは大切です。排泄など、家族にも相談しにくいことやストーマ生活の工夫など、病院では知りえない情報が仲間を通じて知ることができます。

## 活動内容

### オストメイト健康教室

年に14回医療講演会、地区相談・交流会を開催

- 「医師やWOCN(専門ナース)の講演」等(WOCNの個別相談を受けられます)
- 「相談・交流会」オストメイト同士の交流
- 「20/40若いオストメイト交流会」年2回開催 ※20/40:0歳～59歳までの方対象

### リハビリトレーニング(文化・スポーツ活動)

- 日帰り研修旅行・入浴研修等の開催
- 太極拳・写真クラブ・歩こう会

### 相談員活動(ピアサポート)

- 毎月第2・4木曜日 13時から16時(ピア相談担当)
- 毎週火・木・土曜日 10時から16時(協会事務局)

### 定例行事

- 定期総会 ●新春の集い
- 会報「横浜だより」を発行(年6回)

## その他

- ★ストーマ装具展示会開催(年5回)
- ★災害時用ストーマ装具保管についての情報提供
- ★ストーマ装具の給付や障害年金にかかわる相談について
- ★オストメイトの声を行政に届ける



【20/40若いオストメイト交流会】



【日帰り研修旅行】

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 火・木・土(10:00～16:00)  
E-Mail:ostomy@hamashinren.or.jp  
<https://yoa-net.org/>



【HP QRコード】



【X QRコード】

### 沿革

1969年 横浜の地でスタート  
1977年 厚生障害年金取得  
1984年 障害者手帳取得(条件あり)  
1986年 ストーマ装具の給付  
2003年 全オストメイトの即時障害者認定  
2017年 災害時のストーマ装具保管事業開始(横浜市)  
オストメイトの権利は、諸先輩方の多大なる尽力のもとに保障されてきました。



# 横浜市もみじ会 ～呼吸器機能障害～

息切れに悩む人、呼吸器に障害がある人たちの患者・障害者団体です。  
お互いの病気・障害について情報交換し、相談しながら療養生活を一緒に考え、親睦を図り、仲間づくりを通して、より良い毎日を過ごすための活動をしています。

## 活動内容

- ・ 相談・交流事業
- ・ 呼吸器機能障害者生活訓練教室（横浜市委託事業）
- ・ 障害認定の促進・ヘルパー利用等生活改善のための取組み
- ・ 行政・横浜市会議員団への要望活動  
呼吸リハビリテーションの充実・災害時の酸素供給対応などについて具体的な要望を続けて注目されています。



## ピア相談

呼吸・障害相談                      毎月第1水曜日 13時から16時まで  
TEL 045-474-2273

日々呼吸に悩んでいる人の症状・医療の情報、患者会のことなど事情に応じた対応をさせて頂いています。

## その他

私たちは、異なった環境と暮らしのなか、共通した病気や障害を経験し、互いの悩みや困りごとを話し合い、よりよく生活するために活動しています。  
趣旨に賛同して一緒に活動してくれる当事者、また会の運営をサポートしてくれるボランティアを随時募集しています。



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2061 / FAX 045-475-2064

<https://yokohama-momiji.com>



## 沿革

1991年 横浜もみじ会 浜身連に加盟  
1996年 横浜市もみじ会に改称



# 横浜市心身障害児者を守る会連盟

わたしたちは、ごく当たり前に地域で生活できる横浜市を目指して日々努力しています。  
障害者が親なきあとも地域で豊かに暮らせることを願って活動しています。

## 活動内容

### 障害者の20歳を祝うつどい

障害者で20歳を迎えた人たちのために、障害者を家族に持つ私たち『守る会連盟』が中心となって20年を支えてこられた家族と共に、記念すべき日と一緒に祝いし、労をねぎらい、感謝の意を表し、将来に向けて仲間と語り合うことを目的として開催しています。

### ふれあいスポーツ大会

障害児者と家族・支援者、ボランティア、地域みなさんと、運動会競技を通して交流を図ります。(屋内開催)

### 福祉大会

一年の活動を報告する大会です。

### ピア相談

毎週火・木・土曜日12時から15時

当事者家族が相談員として、電話または、面接での相談に応じます。電話：045-474-2274

なお、面接での相談は予約制。面接相談予約：045-474-2272（平日9-12、13-17時）

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836

<http://www.mamorukairenmei.com/>



### 沿革

1986年 横浜市心身障害児者を守る会連盟 設立  
1996年 設立10周年記念式典開催  
2006年 設立20周年記念式典開催  
2016年 設立30周年記念式典開催  
記念誌『塞翁が馬』発行



心身障害者の20歳を祝うつどい 令和7年1月19日 於 横浜ラポール  
【障害者の20歳を祝うつどい】



【ふれあいスポーツ大会】

# NPO法人横浜市手をつなぐ育成会

知的障害者の親の会です。社会参加推進事業としてふれあいショップの運営や、講演会を開催しています。

※ふれあいショップ：障害者の就労の場を確保し、障害者に対する市民の理解を深めるため設置しています。

## 活動内容

○社会参加推進事業：障害者のふれあいショップ等での就労援助

○余暇活動事業：料理教室、新年会、ボウリング大会などの開催

ふれあいスポーツ大会（5月）

20歳を祝うつどい 参加

○啓発事業：調査研究/自立支援法 所得保障 生活の質の向上策 非常災害対策等の研究

研修会/就労支援セミナー等

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-383-9602 / FAX 045-548-4836

<https://www.mamorukairenmei.com/member01/>



### 沿革

1952年 横浜市手をつなぐ育成会 設立



YOKOHAMA FUREAI SHOP



# 横浜市肢体不自由児者父母の会連合会(市肢連)

私たちは先天的、後天的に身体に障害のある子どもたちが、自分の意志で考え行動し、障害のない人たちと同じように生活することを目標に活動しています。毎年行政に対して、医療型グループホーム拡充等の要望書を提出し、意見交換を行っています。

## 活動内容

- 1) バスハイクの実施（年1回）  
博物館・寺社仏閣、関東の人気スポット並びに医療機器開発企業などを観光・訪問
- 2) 口腔ケア研修会（年1回）  
障害児者、家族、支援事業所、及び一般から参加者を募集し、口腔ケア（歯みがき）の大切さや誤嚥防止などについて、口腔衛生学専門医と歯科衛生士から、正しいケアや工夫について実習を交え学びます。
- 3) フラワーアレンジメント講習会  
フラワーデザイナーから花の色や香りの組み合わせを学び、脳を活性化し、心豊かに楽しく過ごす方法を学びます。



バスハイク／東京スカイツリー訪問



口腔ケア研修会／  
昭和医科大 弘中祥司教授と参加者

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836  
<https://sites.google.com/site/yokohamashishiren/>



## 沿革

1965年 横浜市肢体不自由児者父母の会連合会 結成  
2015年 結成50周年記念大会開催

# 横浜障害児を守る連絡協議会(連絡協)

障害のある子どもの権利を守り、だれもが当たり前に地域で暮らせることを願って、1973年(昭和48年)より活動しています。地域訓練会を母体とし、訓練会所属の人は正会員、それ以外で入会を希望する人は個人会員として登録できます。自閉症スペクトラム・ADHD(注意欠陥多動性障害)・発達障害・ダウン症等染色体異常など主に知的障害がある年齢も様々な子どもを持つ親の会の連絡会です。会員登録者へ定期的に情報を発信しています。

## 活動内容

- 保育・就学部/学校・青年部会(1～2か月に1回 年8回程度)
- 成人部会/協力者部会(年3回程度)
- 各部会の中で、市への要望書提出および話し合い、市教委・【保育・就学部会】通級・個別支援学級の先生のお話  
県教委との意見交換会開催
- 障害者支援センターとの共催研修会(年1回)
- 成年後見制度研修会(年3回)
- 会報誌『てんぼう台』(年5回発行)



【成人部会】グループホームのお話

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836  
<http://www.renrakukyo.com/>



## 沿革

1973年 「横浜障害児を守る連絡協議会」発足  
1997年 「私たちが願うふつうの暮らし」発行  
2011年 横浜市社会福祉協議会会長賞受賞  
2015年 かながわボランティア活動推進基金21  
奨励賞受賞  
2021年 弁護士による成年後見制度研修会 第1回開催

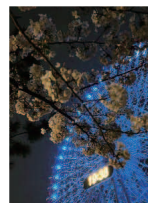


# 一般社団法人 横浜市自閉症協会

自閉スペクトラム症の人たちが自分らしく安心して暮らしていける社会を目指して活動しています。勉強会、懇親会、レクリエーション活動、オンラインでの交流なども行っています。

## 活動内容

- ◆ 行政への施策提言：市・神奈川県教育委員会等への要望書を提出
- ◆ 広報・啓発  
会報『横浜やまびこ』年11回発行  
世界自閉症啓発デーを中心に、広く一般の方に向け、障害特性の正しい理解や多様性を認め合うことの大切さを伝えるイベントを開催
- ◆ 講演会・勉強会：専門家や経験豊富な講師による講演会や勉強会を開催
- ◆ グループ活動  
親同士の悩み事の共有や情報交換、専門家を交えた相談会  
・高機能自閉症・アスペルガー症候群の会 ・区グループ（港南区グループ・北部グループ）  
・おやじの会（オンライン飲み会・子どもと一緒に楽しめるレクリエーション）  
・おしゃべりサロン ONLINE ・ローファンクションの会
- ◆ サークル活動：ヤッホークラブ（山歩きの自主サークル）



毎年4月2日は国連の定めた『世界自閉症啓発デー』  
自閉症や発達障害について  
広く啓発する活動の一環として、ブルーライトアップ  
を行っています。



【ヤッホークラブ】

## 入会について

【会員種別は正会員・賛助会員（個人・団体）】

お電話、FAX、ホームページ問合せフォームから

TEL / FAX 045-663-0019

<https://yokohama-yamabiko.org>



## 沿革

1979年 「横浜市自閉症児親の会」発足

1981年 「横浜市自閉症児・者親の会」に名称変更

1989年 社会福祉法人 横浜やまびこの里法人認可

2010年 後見制度に関するワーキンググループNPO法人承認

2018年 法人化、名称を「一般社団法人横浜市自閉症協会」に変更

# 神奈川県筋ジストロフィー協会 横浜支部

筋ジストロフィーは身体の筋肉が壊れやすく、再生されにくいという症状をもつ、たくさんの疾患の総称です。神奈川県筋ジストロフィー協会は、様々な問題を抱える筋ジストロフィー患者家族のQOL向上を目指しています。

## 活動内容

- 1) 広報事業  
最近の情報などを会員に配布する。横浜市心身障害児者を守る会連盟等の団体に参加する。
- 2) 研修事業  
感染に留意し小規模の集団指導や訓練指導を複数回開催する。  
理事長が研修してきたことを家族や親に発表してもらい研修を行う。  
患者と福祉関係者で宿泊研修を行う。
- 3) 交流事業  
相談員による患者家族の相談（電話・手紙）を行う。  
医療福祉関係者を招いて懇談会を実施する。ピア・カウンセリングの集まりを持つ。
- 4) リハビリ事業  
専門の指導員にリハビリの訓練指導を受ける。

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階

TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836

<https://www.mamorukairenmei.com/member05/>



## 沿革

1964年 神奈川県筋ジストロフィー協会 設立

# 全国心臓病の子どもを守る会 横浜支部

生まれたときから心臓に病気を持つ子どもの親の会です。心臓病児者が安心して社会生活を送れるよう病児の成長を促し、会員の親睦を図るためのイベントや親への相談事業を行っています

## 活動内容

### ○会員相互の交流

- ・交流会・キャンプ・クリスマス会
- ・医療・教育・生活などに関わる相談会、講演会、勉強会
- ・電話やメールによる個別の相談活動
- ・心臓病を持つ本人の会「心友会」の運営
- ・入園・入学前の乳幼児を対象とした地域訓練会「横浜こぐま園」の運営

### ○心臓病対策の充実のため、国や地方自治体への請願・陳情・署名運動



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836

<https://heart-yokohama.com/>



## 沿革

- 1963年 全国心臓病の子どもを守る会は、重い心臓病を持って生まれた赤ちゃんの命を救おうと、全国の母親たちの強い思いから創設
- 1964年 横浜支部設立 全国に50の支部がある



# 横浜てんかん協会(日本てんかん協会 神奈川支部)

当協会では、てんかんの当事者、家族、支援者(医療、福祉、教育など)に向けて、情報提供やセミナー・市民講座などのイベントを開催したり、電話や面接相談などもお受けしています。また、同じ思いを抱えた仲間と話し合う自助グループ(親の会、当事者の会)などの活動も行っています。てんかんについて、一緒に話してみませんか？

## 活動内容

### ○セミナー・講座の開催

- ・市民講座
- ・パープルサロン(交流会) 開催：病気について同じような思いを持つ仲間と一緒に治療、生活、就労などについて、また日頃の悩みや葛藤について語り合います。
- ・オンラインミーティング

### ○相談活動

相談員は病気の子を持つ親が担当、専門家ではありませんが、相談者の話をよく聞くよう心がけています。  
毎週木曜日の10時30分から15時30分 電話での相談に応じます。  
電話：045-475-2360 ひとりで悩まず、相談してみませんか。

### ○グループ活動：対面またはオンラインでミーティングを行っています

### ○機関誌の発行：月刊『波』Nami / 日本てんかん協会 波の会発行 月刊『かもめ』 / 日本てんかん協会 神奈川支部発行



【神奈川支部 HP】

<https://jeaofkanagawa.wordpress.com/>  
横浜てんかん協会は日本てんかん協会の分会です。

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2360 / FAX 045-548-4836

<https://jeaofkanagawa.wordpress.com/blog/>



## 沿革

- 1977年 横浜てんかん協会 設立





# 日本二分脊椎症協会 神奈川支部

自分たちで、自分たちの生活を、より楽しくおくれるように活動する団体です。  
各種情報やノウハウの蓄積を行い、支部内での共有と活用に努め、また、行政・団体等との交流・交渉を通して、社会での課題と解決に努めています。

## 活動内容

- メルマガ配信（随時）  
神奈川支部からのイベントや福祉情報など、機関誌では間に合わない急なお知らせをPC・携帯・PHS・スマートフォンのメールアドレスに配信しています。
- 機関誌『道』（協会本部）、『竹馬』（神奈川支部）を発行（各誌年4回程度）  
会員参加型の機関誌作りに努めています。
- 座談会、スポーツイベント、各種手当の申請や、補助についての相談、  
就園&就学相談などさまざまなイベントを行っています。（神奈川支部会員は参加費無料）  
登録はホームページからできます。

## 活動指針

- 抱え込まず、無理をせず、気楽に、気長に助け合って活動しましょう。
- ささいなことや小さいことでも、できることは何でも率先してご協力ください。
- 先入観にとらわれず、子どもの訴えに耳を傾けましょう。 ○子どもの自立支援、自律支援を第一に考えましょう。



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836  
<https://www.spinabifida-kanagawa.info/about>  
ご連絡はHP「お問い合わせ」フォームをご利用ください



## 沿革

1973年 日本二分脊椎症協会 神奈川支部設立

# 神奈川へモフィリア友の会 横浜支部

血友病とは、先天性血液凝固第8因子障害（血友病A）と第9因子障害（血友病B）の総称です。症状としては、関節内出血や筋肉内出血が主な症状ですが、血尿や消化管（口腔内）出血もみられます。血友病は「出血がとまりにくい病気」であり、「自然に出血しやすい」わけではありません。患者とその関係者相互の連携を図る事業を行い、患者を取り巻く諸問題について、より良い方向性を形作ることを目的として活動しています。

## 活動内容

- 交流会/会員同士
- 勉強会/講師は専門医
- 会報発行



へモフィリアねっと  
へモフィリア友の会全国ネットワーク  
<https://hemophilia-japan.org/>

血友病患者及びその関係者相互の連携強化を図る事業を行い、血友病患者をとりまく諸問題に関して、よりよい方向性を形作ることに寄与すること

## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836  
<http://shinyukai1987.web.fc2.com/>



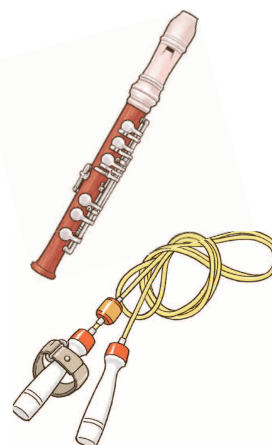
## 沿革

# 先天性四肢障害児父母の会 神奈川支部

生まれつき手・足・指・耳がなかったり、形が大勢の人と違って生まれてきた子どもの親と本人の会です。また四肢障害はないけれど会を応援してくださる賛助会員とで構成されています。

## 活動内容

- 交流会（お話し会）
  - ・先天性四肢障害の子どもと親の悩みについて聞く
  - ・就園・就学についての不安や悩みについて、先輩会員が相談に応じます。
- イベント
  - バザー、春レク、バーベキュー、横浜ラポールでの音楽会やクリスマス会など、親子で楽しめるイベントを開催。
- 講演会・相談会
  - 手足に関する療育相談、リコーダーを含む楽器の相談会、障害児者に対する偏見や差別についての講演会の開催。
- 会報誌「かながわ」発行 会員限定配付



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836  
<http://www.fubonokai1975.net/>



## 沿革

1975年 先天性四肢障害児父母の会 設立

# 横浜重心グループ連絡会 ～ぱざぱネット～

ぱざぱネットは横浜市内の重症心身障害、肢体不自由、医療的ケア児者の親の会、個人の連絡会です。障害が重くても、地域で「普通に」暮らしていくことを目標に活動しています。会の詳細や活動内容を知りたい方はホームページをご覧ください。

## 活動内容

- ◆勉強会：障害児者の暮らしに必要な情報の共有
- ◆要望書の提出：市や関係機関が実施する委員会等への参加
- ◆あんしんノートの普及啓発
  - 介助やケアが必要な人に必要な情報をまとめることができるノートの普及啓発として作成講習会も行っています。



## ピア相談

障害児者の暮らしのこと、子育てのことなどをご相談ください。  
当事者の親が相談支援をしています  
毎月第1・3金曜日 12時から15時まで / 電話 045-474-2274



## 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2062 / FAX 045-548-4836  
<https://pazapanet.jimdofree.com/>



## 沿革

2001年 重症心身障害のある子どもの会の連絡会を立ち上げる  
ぱざぱ(pas a pas)とは、フランス語で『一歩一歩』の意味



# NPO法人横浜市精神障害者家族連合会(浜家連)

横浜の精神障害者の家族の連合体です。精神保健福祉の向上を目指し、「支え合い」「学び合い」「働きかける」ことをモットーに、家族力を生かした活動をしています。

## 活動内容

### 1. 精神保健福祉の普及啓発事業

#### I 市民メンタルヘルス講座（横浜市委託事業）

“みんなで考えよう こころの健康”をテーマに、市民とともにこころの健康の大切さと、障害のある人もない人も共生する社会について、共に学ぶ講座です。医療・福祉の専門家や当事者・家族による講演会、映画・シンポジウムを行っています。年5回開催しています。

#### II 家族による家族学習会（横浜市の家族支援事業）

家族だけの小グループで行う体系的なプログラムで、5回シリーズで行い、同じ立場の家族が「担当者」となって運営します。横浜市内各地で年2回実施しています。

### 2. 医療と福祉の制度・施策の向上を図る事業

精神障害者が障害を持っていても安心して自立した日常生活を営むことができるよう、精神保健福祉の行政施策に関して提言・要望などを行っています。

### 3. その他の事業

- ・ 地域活動支援センター 2か所  
（金沢区青いとり作業所、神奈川区わかば工芸）の運営。
- ・ 相談支援：横浜市障害者社会参加推進センター  
のピア相談（電話・面談）事業に協力。
- ・ 障害年金に関する相談の窓口を提供している。
- ・ 『横浜市の精神保健福祉のガイド』の発行  
（年1回改訂版をホームページに掲載）
- ・ 機関紙：毎月1回「浜家連ニュース」を発行。
- ・ 横浜市内18区の家族会と連携・協力して  
活動を行なっています。

#### 横浜市の精神保健福祉ガイド

（第12版）2024年3月



特定非営利活動法人  
横浜市精神障害者家族連合会

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-548-4816 / FAX 045-548-4836

<https://hamakaren.jp>



### 沿革

1979年 横浜市精神障害者家族連合会発足  
2010年 NPO法人化





# 横浜断酒新生会

## お酒をやめたくてもやめられないで困っている人、 ご家族の方々へ

是非、一度来てみてください。私達の体験が回復への機会になって、少しでもお役に立てれば幸いです。

### 活動内容

#### 研修会

障害者保養施設を利用した一泊研修会(精神科医による講演、ケースワーカーのアドバイスを交えたグループディスカッション)を年1回実施しています。

また、神奈川県からの受託事業である酒害相談員研修会(講師を招きアルコール依存症に関する勉強会)を県下20回、うち横浜で6回開催しています。

#### 酒害相談

酒害に対する予防啓発活動として、毎月酒害相談日を設け酒害相談員の資格を持った会員が常駐し、酒害に悩む人達の相談に応じています。

相談日時: ①毎月、第2・3・4金曜日の午後1時から3時まで

②毎月、第2日曜日の午前10時から12時まで(1月を除く)

場 所: ①かながわ県民サポートセンター12階セルフヘルプ相談室

②かながわ県民サポートセンター14階セルフヘルプ相談室

費 用: 無料

問い合わせ先: 横浜断酒新生会 TEL090-6124-2006

#### 例会

横浜市18行政区に支部を設け、18支部体制でほぼ毎日行っています。

#### 新年会

毎年元旦に東京都下、あるいは神奈川県下の“七福神めぐり”をして一年の断酒祈願をしています。また、毎年1月の第2日曜日に“酒なし”新年会を開催しています。

#### レクリエーション

夏に“酒なし”のバーベキュー会も企画しています。

### その他

- 全国の友好断酒会での記念大会、市民公開講座、啓発のための研修会等に参加。
- 毎年11月第2日曜日 桜木町駅前にて警察署と協力して飲酒運転根絶キャンペーンに参加。

#### 問い合わせ先

<https://www.shindanren.com/yokohama>  
ホームページ記載の連絡先からお問合せください。



#### 沿革

- 1953年 断酒友の会 発足
- 1957年 東京断酒新生会 設立
- 1963年 全日本断酒連盟 結成  
以降、全国に断酒会が誕生 全国規模となる
- 1969年 横浜断酒新生会 設立



薬物依存症者を抱える家族会

# NPO法人 横浜ひまわり家族会

私たちは、薬物依存症者を抱え苦しんでいる家族の回復と、成長を目指すとともに、当事者自助グループを支援しています。また、薬物依存症は病気であり、回復可能であることを広く社会に啓発し、薬物依存症の防止と偏見のない社会を目指して活動しています。

## 活動内容

### 家族会

依存症の問題を抱え苦しんでいる家族や関わっている方ならどなたでも参加できます。プライバシーを守るため、誰が来て何を話したかは秘密厳守でお願いしています。

開催日時／毎月2回。第2土曜日、第4土曜日 13時30分から16時30分

会 場／第2土曜日、南センター南寿荘（横浜市南区南太田2-32-1）

横浜市営地下鉄 蒔田駅 徒歩5分。または、京急 南太田駅 徒歩7分

第4土曜日、横浜ラポール3階 会議室1（横浜市港北区鳥山町1752）

（会場は都合で変更になる場合があります。最新情報はホームページをご覧ください。）

行事内容／「**家族教室**」 家族同士で話し合うことで家族・当事者の回復を目指します。

「**家族研修会**」 薬物依存症専門の精神科医師等専門家を招き、依存症回復のための知識を習得するための研修会です。（研修会は依存症問題に関心のある方、支援者の方も参加できます。）

「**ビギナー相談**」 初めて相談にくる家族に対しての個別相談です。（予約制）

※ご予約は、電話・ファックス・メールにてご連絡ください。

「**薬物依存症当事者との交流**」 合同クリスマス会や、合同ミーティングなどがあります。

### 薬物依存症者と家族フォーラム／オープンセミナー

「薬物依存は病気である」という正しい理解を促進することを目的に、薬物・アルコール等の問題を抱えて苦しんでいる家族、薬物問題に関わる支援者や関心のある人を対象に開催しています。

## 相談支援

- ◆電話ピア相談 毎月第1・3火曜日 13時から16時まで  
当事者家族相談員が電話で相談に応じます。電話：045-474-2275
- ◆スマホ電話相談 10時から18時まで 電話：080-3488-1996
- ◆面接相談 木曜日 10時から16時 場所：横浜ラポール3階横浜ひまわり家族会事務局  
面接相談は予約制。  
面接相談予約：電話045-475-2063（木10時～16時）又は080-3488-1996

## その他

- 「体験談・メッセージ活動」
- 機関紙「ひまわり通信」

### 問い合わせ先

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
TEL 045-475-2063 / FAX 045-947-3975  
E-mail 045-himawari@hamashinren.or.jp  
<https://himawari.yokohama>



### 沿革

1996年 『横浜ひまわり家族会』発足  
2016年 第1回オープンセミナーを開催  
『依存症障害者家族会』として第2回「薬物依存症者と家族オープンセミナー」開催  
2017年 第1回『薬物依存症者と家族フォーラム』開催  
2018年 NPO法人化

# 知っていますか 改正障害者差別解消法

障害があることで、障害のない人たちとは違う扱いを受けて困った、また、自分の障害に合った方法や工夫をしてもらえなかったことはありませんか。障害者差別解消法は、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指して、平成28年4月1日からスタートしました。

障害者差別解消法では、役所や会社・お店等の事業者に対して、障害のある人への「不当な差別的取扱いの禁止」、「合理的配慮の提供」を求めています。

令和3年には障害者差別解消法が改正され、事業者による「合理的配慮の提供」は努力義務でしたが、令和6年4月1日から義務化されました。

## 不当な差別的取扱いの禁止とは？

役所や事業者(会社・お店など)は、正当な理由がないのに、障害者に対してサービスの提供を拒否することや、障害のない人にはつけない条件をつけることなどが禁止されています。

《たとえば、こんなことが禁止されます》

- 受付での対応を拒否される。
- 学校の受験や入学を拒否される。
- アパートを貸してもらえない。

## 合理的配慮の提供とは？

役所や事業者(会社・お店など)は、障害のある人から、その人に合った何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時は、負担が重すぎない範囲で対応することが求められます。

《たとえば、こんな配慮が求められます》

- 段差がある場合に、スロープ等を使って補助する。
- 絵や写真、タブレット端末などを使って分かりやすく伝える。
- 目が見えない人に、書類を読んで説明する。

## 困ったときには…

役所など、地域の身近な相談を受け付ける窓口相談してください。

※役所や事業者は、「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮」についての具体例を示した「対応要領」や「対応指針」を通じて、適切な対応が求められています。

役所や学校、会社やお店などで、気づいたことや不便さを感じたことがあったときには、率直に相手の方に伝えてください。そこから会話がはじまります。互いを認め合うなかで、様々な発見や工夫が生まれます。



あなたのほんの少しの  
勇気を待っています

### ■ 心と手を貸してください

障害理解ハンドブック  
障害のある人もない人も共に暮らし  
やすい社会になるためのサポートブック



互いを尊重し合いながら  
共に生きる社会を  
目指しましょう

### ■ 事業者のための合理的配慮ハンドブック

障害のある人への配慮を適切に行うための  
事例集





This map shows the area around Shin-Yokohama Station. The station is at the bottom center, with the 10th entrance and exit (出入口10) and the 10th bus stop (10番乗降場) marked. The map includes the JR East Tokaido Shinkansen line, the JR Yokohama Line, and the Sagami Line. Other landmarks shown include the Yokohama Labor Hospital, the Yokohama Arena, and the Yokohama City Underground. The map also shows the location of the 10th bus stop relative to the station and the surrounding area.

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
横浜市身体障害者団体連合会内

※日曜祝日・年末年始を除く

- JR横浜線「新横浜駅」(北口)、横浜市営地下鉄および相鉄・東急新横浜線「新横浜駅」(9番出口)から徒歩約10分
- 新横浜駅前(北口福祉バス乗り場)からリフト付き送迎バス(障害者優先)を運行(無料)

**バス**

- 「新横浜駅前」、「仲町台駅」バス停から横浜市営バス(300系統)で、「浜島橋」下車徒歩2分

**車**

- 「新横浜駅」から約1km
- 高速の場合:第三京浜「港北インター」から約2km・首都高「新横浜インター」から約1km

発 行 横浜市障害者社会参加推進センター  
横浜市健康福祉局障害自立支援課  
令和7年5月

